

外国人とともに暮らす社会について考える講座

～多文化共生の地域づくりを目指して～

伊達

胆振地域でも様々な背景を持つ外国人が増えています。多文化共生の地域づくりを目指し、外国人との交流や日本語学習支援活動を一緒に実践しませんか？
 講座ではワークショップによる体験的な学びと活動のふりかえりを通して、多文化共生社会を牽引する地域の「日本語学習支援者」を養成します。

日程

10月8日～12月3日のうち**土曜日全5回**
 13:00～16:00 (3時間)

対象者

外国人との交流や相互理解に**興味がある方**
 胆振管内在住で全5回に参加できる方

場所

市民活動センター（伊達市鹿島町20番地1）**予定**
 ※ 駐車場あります

参加費

無料（定員30名）
 ※ 事前申込が必要です。

申込方法

①E-mail、②FAX、③QRコード のいずれか
 ※ 詳しくは裏面をご覧ください。

日本語学習支援者とは
 外国人が地域で安心して生活できるよう、言葉や文化理解をサポートする方です。
 * 日本語教師とは異なります。

	日時 / 講師名	内容
第1回	10月8日(土) 13:00-16:00 中川 かず子/新居 みどり	学習者に対する理解と多文化共生 ・「基礎」研修のふりかえりと課題 ・地域日本語教育の課題と展望(他地域の事例からみて) ・胆振地域の特徴と展望(学習者、地域社会の多文化共生への取り組み)
第2回	10月22日(土) 13:00-16:00 五十嵐 啓子	相互理解と学習支援のためのコミュニケーション ・地域日本語教室の状況、外国人支援の事例紹介 ・外国人のための人的リソース、学習リソースの確認 ・「やさしい日本語」の取り組み
第3回	11月5日(土) 13:00-16:00 森 良太	地域のことばとコミュニケーションのための日本語 ・外国人から見た私たちのことば、地域のことば ・わかりやすい日本語とは何か、やさしい日本語の必要性 ・日本語学習リソースを使って
第4回	11月19日(土) 13:00-16:00 奥村 訓代	地域日本語教育の多様性～学習支援者の役割～ ・外国人との交流～文化、言葉の違いをどう理解するか ・日本語学習支援として何ができるか考える ・多文化共生社会に向けた協働的活動を考える
第5回	12月3日(土) 13:00-16:00 中川 かず子/新居 みどり	相互理解と学習支援の実践に向けて ・参加者のふりかえり、全体討論 ・発表～フィードバック

* 苫小牧市（1月～3月）でも開催します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、検温、手指の消毒、体調不良時の欠席をお願いいたします。
 感染拡大状況によってはオンラインでの実施に変更、または中止となる可能性があります。

申込方法

E-mail、またはFAXでお申込みの方



- ・ 件名に「講座申込・伊達」
- ・ 本文に「住所、氏名（ふりがな）、電話番号、E-mailアドレス」を明記のうえ、下記よりお申込みください。

E-mail : info1@hokuto-bunka.ac.jp

FAX : [0143-22-7723](tel:0143-22-7723)

QRコード（またはURL）からお申込みの方



下のQRコード（またはURL）から
申込フォームにアクセスし、お申込みください。



<https://forms.gle/QepqNHKCUU1gAGUA9>

申込締切：令和4年9月28日（水）

- ※ 定員（30名）を超えた場合は抽選とさせていただきます。
- ※ 受講の可否につきましては、**令和4年9月30日（金）までに**、お申込み時にご記入いただいたE-mailアドレスに連絡いたします。

お問い合わせ

学校法人 北斗文化学園北海道福祉教育専門学校

担当：若山・小里

TEL: [0143-22-7711](tel:0143-22-7711)